

平成 29 年度第二回運営推進会議 議事録

地域密着型通所介護 ひなたぼっこ

1.日時 平成 30 年 3 月 28 日 (水) 13 : 30~14 : 40

2.場所 デイサービスひなたぼっこ プレイルームにて

3.出席者

小丸山台町会長	1 名
七尾市市役所保険課	1 名 (西田様)
利用者様ご家族	3 名
ボランティア代表	1 名
ひなたぼっこ 理事長	滝澤るみ子
ひなたぼっこ 職員	1 名

4.議題

①ひなたぼっこ代表のあいさつ

②業所の今までの運営方針と経過

年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが安心して、地域の中で自分らしく暮らせる場所となるよう、開かれた場所としての福祉サービスを目指す。

平成 29 年 4 月にお泊りデイサービスを申請するうえで、必要な消防設備増設工事は終了した。営業開始のための申請書類は現在準備中である。平成 29 年度中に申請書類を提出する予定だったが、職員の確保等の問題で提出には至らなかった。平成 30 年度前半期に準備が整い次第、提出する予定である。

利用者の更なるサービス充実のため、平成 30 年度の前半期に総合事業の基準緩和訪問型サービスの指定申請をめざす。対象者は要支援者のみであるが、将来的には訪問介護事業を開業を目指し、更なるサービスの充実を目指す。

③運営状況

9 月 利用者数 42 人 営業日 24 日 介護保険での 1 日平均利用者数 15.4 人

介護保険延べ利用者 369 人 利用者数 42 人

日中一時延べ利用者 10 人 利用者数 2 人

自主事業延べ利用者 4 人 利用者数 1 人

10 月 利用者数 44 人 営業日 25 日 介護保険での 1 日平均利用者数 15 人

介護保険延べ利用者 374 人 利用者数 41 人

日中一時延べ利用者 11 人 利用者数 2 人

自主事業延べ利用者 4 人 利用者数 1 人

11月	利用者数	40人	営業日	24日	介護保険での1日平均利用者数	14.7人
	介護保険延べ利用者	353人	利用者数	37人		
	日中一時延べ利用者	13人	利用者数	1人		
	自主事業延べ利用者	3人	利用者数	2人		
12月	利用者数	47人	営業日	23日	介護保険での1日平均利用者数	15.3人
	介護保険延べ利用者	351人	利用者数	43人		
	日中一時延べ利用者	8人	利用者数	2人		
	自主事業延べ利用者	2人	利用者数	2人		
1月	利用者数	44人	営業日	23日	介護保険での1日平均利用者数	15.6人
	介護保険延べ利用者	359人	利用者数	40人		
	日中一時延べ利用者	11人	利用者数	2人		
	自主事業延べ利用者	8人	利用者数	2人		
2月	利用者数	43人	営業日	23日	介護保険での1日平均利用者数	12.3人
	介護保険延べ利用者	283人	利用者数	40人		
	日中一時延べ利用者	10人	利用者数	2人		
	自主事業延べ利用者	2人	利用者数	1人		

④行事、研修、ボランティア等の実施状況について

●第8回地域共生ホーム全国セミナーへの参加

9月23日、24日の2日間に富山市で第8回地域共生ホーム全国セミナーが開かれました。ひなたぼっこは、主催者の富山型デイサービスのグループに所属しており、セミナーへの職員の参加と、事業所紹介用の壁新聞の出品を行いました。

●第12回七尾市民健康福祉まつりへの参加

10月7日に七尾市民健康福祉まつりに、ひなたぼっこから出店しました。日頃、利用者さんたちが作りました、さをり織の作品を出品して、15570円の売り上げがありました。売上代金は新しい糸の購入費にあてがいました。利用者さんも福祉祭りを見に行ってきました。

●事業所セラピードッグの絵本の出版とテレビ出演

当初、寄付を募って100冊の絵本を制作する予定でしたが、多くの方に寄付して頂いて、最終的には210冊の絵本を作成しました。この内容が、毎日新聞の記事になり、NHKの動物番組、「もふもふモフモフ」にも紹介されました。セラピードッグは利用者に好評で、事業所のムードメーカーになっています。

●ゆうの丘のボランティア

10月5日にゆうの丘の慰問があり、太鼓演奏を披露してくれました。高齢者の方には非常に好評であります。

●テルミーのボランティア

小丸山台の小川さんによる温熱刺激療法を不定期にて開催しており、高齢者の方には非常に好評であります。

●アロママッサージの実施

事業所の看護師職員によるアロマオイルを使った足のマッサージを不定期に開催しており、高齢者の方に好評であります。

●リンゴ狩りの実施

11月に能登島の野口りんご園にりんご狩りに行ってきました。今年は、天候があまり良くなかったため、一部の利用者しか行くことが出来ませんでした。皆さん行かれた方は、楽しんでおられました。

●「メルメル」の会などによるレクレーションボランティアの実施

10月と11月に歌と踊りによるボランティアと絵本の読み聞かせの披露を実施して頂きました。

⑤地域交流について

●異世代交流

地域の方から相談があり、初めての試みとして小学生の夏休み期間中である8月中に9時から13時まで児童と高齢者の交流の機会を作る企画を行いました。冬休みと春休みにも実施しました。子供たちの食育として料理を行ったり、高齢者と一緒にレクレーション、体操などを行いました。

●くもん教室

6月よりプレイルームにて火曜日と金曜日にくもん教室が再開する。園児、児童と高齢者の交流の機会を作るため、ひなたぼっこは場所を提供しています。高齢者の方が作ったクッキーやチョコレートの配布なども行って、ひなたぼっこを利用している高齢者の刺激になっています。

⑥質疑応答

(問) 子供たちが作る料理はどのようなものを作るのですか？

(解) 餃子の皮を利用してピザを作ったり、カレーなどを作って出したりしています。

無農薬の野菜が利用できるときは、それを利用して作っています。

(意見) 核家族が多いのでそのような体験が出来るのは良いですね。

(問) 定員何名ですか？

(解) 18人です。